

ある日のわたしは
依頼を受け
ダンジョンを探索していました



しかし、油断していたわたしは
オーガに気付かず奇襲されてしまいます



わたしの悲鳴を聞きつけたのか
それとどこかに潜伏していたのか
いつの間にか周りには他のオーガも集まっていた



このダンジョン、気付けなかったのですが
催淫ガスのようなものが充滿していたらしく

私も、そしてオーガたちの身体も
発情している様でした

最初に抱き着いてきたオーガが
亀頭を押し付けてくると同時に
他のオーガたちもこれ見よがしに
それぞれの男性器を押し付けてきました




抵抗しようにも
既に力の入らなくなってしまうわたしでは
どうしようもなく・・・





数時間後



さらに数時間後

あの催淫ガスの影響なのか
すっかり痛みは快楽へと変わり

わたしはいつの間にか
おチンポさまの虜へとなっていました♡

それでも、オーガさまたちは
やはり乱暴なお方々なので
身体がついていけないのですが

もはや嫌悪感や敵対心などはなく
一匹の雌として

愛するこれからの旦那さま方からの
「愛」を受け止めました♡



それから数ヶ月、数年後







